

金融トラブルから身を守るためのシンポジウム

金融庁と四国財務局では、金融商品・サービスを巡るトラブルについて、被害の発生や拡大を防止する観点から、金融トラブルから身を守るためのシンポジウムを開催しました。(金融サービス利用に関する相談会を同時開催)

開催概要

日 時	平成29年2月21日(火) 13時30分～15時40分
内 容	第一部 基調講演 『より賢い消費者になろう』 講師:菊地 幸夫 氏(弁護士) 金融トラブルの相談実例紹介 説明者:竹内 信近 氏(金融庁総務企画局政策課課長補佐) 第二部 パネルディスカッション コーディネーター いちのせ かつみ 氏(生活経済ジャーナリスト、ファイナンシャルプランナー) パネリスト 菊地 幸夫 氏(弁護士) 白井 幹二 氏(香川県消費生活センター 所長) 小橋 成美 氏(香川県警察本部生活安全部生活環境課 課長)
場 所	香川県社会福祉総合センター 1階 コミュニティホール (金融サービス利用に関する相談会受付 6階 和室研修室)
参加者	一般応募者 132名
主 催	金融庁・四国財務局
後 援	内閣府・消費者庁・文部科学省・金融広報中央委員会 香川県・高松市・香川県金融広報委員会

<会場の模様>



シンポジウムの模様

<第一部 基調講演の模様>



菊地幸夫弁護士から「より賢い消費者になろう」と題して、犯罪者、被害者両方の弁護の経験をふまえてオレオレ詐欺、訪問販売等の手口や対策について、身振り手振りも加えて熱く語っていただきました。ユーモアも交えながら、騙す側は周到に準備して相手を狙ってくるので、人を信じすぎず、どこかで冷静な部分をもつこと。自分で判断せず、最低2人には相談すること。「耳で買わず目で買え」といったためになるお話をしていただきました。

<第一部 相談事例紹介の模様>



金融庁総務企画局政策課竹内課長補佐から、金融庁の相談窓口である「金融サービス利用者相談室」に寄せられた相談事例について、一人暮らし女性高齢者の投資詐欺の被害や、自ら海外FX業者などのサイトにアクセスして被害にあった若者、金融庁の職員を騙った勧誘などの相談が増えているとのご紹介がありました。

<第二部 パネルディスカッションの模様>



コーディネーターとして消費生活ジャーナリスト、ファイナンシャルプランナーのいちのせかつみ氏、パネリストとして基調講演していただいた菊地弁護士、香川県消費生活センターの白井所長、香川県警察本部生活安全部生活環境課の小橋課長の4名の方に、劇場型詐欺などの金融トラブルから身を守るための心の持ち方などについて、意見が交わされました。



株式会社笑の取締役会長でもあるいちのせ氏のユーモアを交えたコーディネートにより、楽しい雰囲気でのパネルディスカッションとなりました。

パネリストの菊地弁護士からは、人を信じる良い人が騙されやすい、被害にあった金額を取り戻すことは非常に困難であるなどの発言がありました。



また、白井所長からは、消費生活センターの相談窓口の案内に加え、最近では通信サービスに関する相談の増加やSNSの架空請求が巧妙になってきているなどの紹介がありました。

小橋課長からは、取り締まり側の観点から、投資詐欺などでは証拠が残らないことが多く特定しにくいと、電話勧誘や商品等の購入を求められた場合、できるだけ記録をもって相談していただきたいことや、被害の拡大防止のために口座凍結を依頼したり、特殊詐欺撃退装置を貸し出しているといった説明がありました。

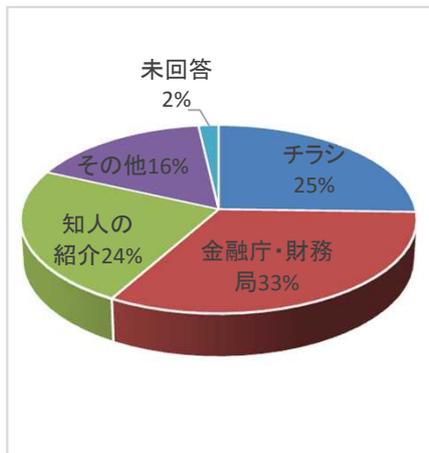
最後に、いちのせコーディネーターから香川県では県民ぐるみで被害に逢わないための川柳を考えるなどの取り組みが行われている点で、意識付けが進んでいるけれども、人は必ず騙されるということを認識し、一人で判断せずに、周りとの関わり合いを増やし、相談することが大事なこととまとめていただき、閉会となりました。

アンケート結果(回答数110)

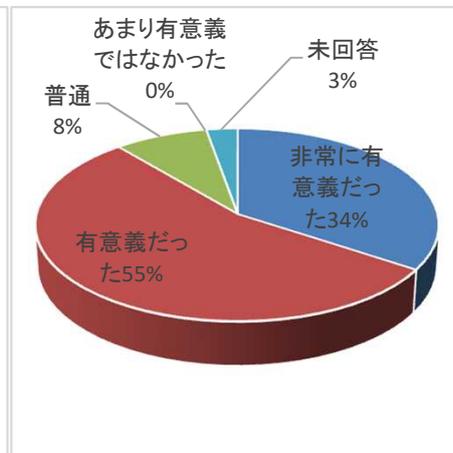
1. 参加者の構成(性別・年齢・職業)について



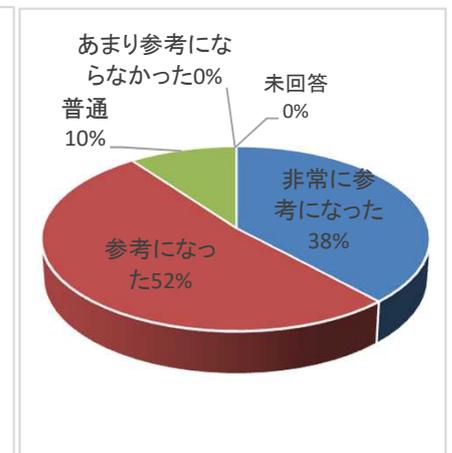
2. ご来場のきっかけ



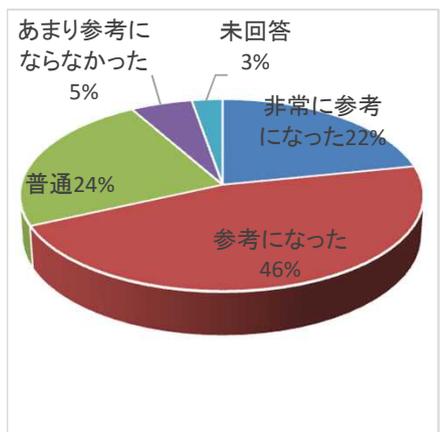
3. 「全体の感想」



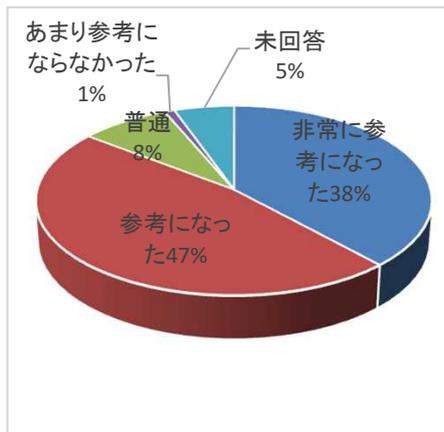
4. 「基調講演」



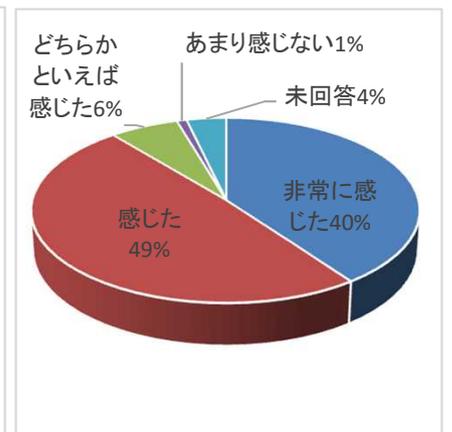
5. 「相談事例紹介」



6. 「パネルディスカッション」



7. 「金融知識の重要性」



8.「主なご意見・ご感想」

- ・自分も騙されるかもしれないという心構えをもてた。
- ・自分だけは間違いないと過信しがちなので自己判断せず相談する。
- ・相談室へのアクセス方法を知った。いろいろな相談機関があることを知った。
- ・県下の現状と特徴を知ることができた。関係機関の働きや対応等が少し理解できた。
- ・県内の犯罪状況や近い将来考えられる犯罪が聞けた。
- ・もう少し事例がほしかった。異例な事例が聞きたかった。
- ・内容がほとんど周知のことで改めて聞くレベルのものでなかった。
- ・今回の参加者は高齢者が多数を占めているように感じた。これからのトラブルを防ぐためにも若者や家族を巻き込んだシンポジウムが必要と思う。
- ・実例を伴った簡単な芝居をすればよいと思った。

他にも多数のご意見・ご感想をいただきました。

ご参加いただきました皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。